

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年7月31日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672900133
法人名	社会福祉法人九十九会
事業所名	グループホーム秋光園
所在地	鹿児島県日置市東市来町長里360-1 (電話) 099-274-3770
自己評価作成日	令和2年7月4日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和2年7月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

GH秋光園は高台の日当たりの良い立地にあり、静かな環境にあります。法人のグラウンドが目の前にあり地域の方がグラウンドゴルフを楽しまれたり自治会の運動会などを開催したり地域の方との交流の場として活用しています。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり例年通り地域行事や法人の行事が出来ず地域との関わりが難しい状況にありますが、自施設内で何か入居者様に楽しんで頂けないか職員が考え出来る事を話し合いながら形にして取り組んでいます。GH内の入居者様の高齢化もあり協力病院の主治医や、GHの看護師・介護職の連携を深める為、職員間の情報共有やご家族との情報共有の所を深めていく為にコミュニケーションという部分を今年度のテーマに取り組んでいます。また、看護師等のアドバイスも頂きながら緊急時の対応マニュアルの見直しも行っている所です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは日当たりの良い高台の住宅地に位置し、法人の特別養護老人ホームやデイサービスセンター、在宅介護支援センターなどに隣接している。法人のグラウンドは地域住民にも開放して、グラウンドゴルフや利用者も参加する自治会の運動会などにも活用されている。現状は感染症対応で休止しているが、自治会にも加入してサロンをはじめとした地域行事にも参加するなど、地域との交流は非常に活発である。

地域の消防署や住民の協力を得ながら、夜間も想定した消火訓練・避難訓練を実施している。また、地域と防災協定を結び防災訓練に参加し、特養は緊急時の避難場所として地域にも提供している。訓練をさらに充実させるためにマニュアルの見直しも実施するなど防災への意識は非常に高い。

管理者と職員は、何よりも利用者及び家族の意向や思いを大切に考え、年間テーマに「情報の共有、コミュニケーションの充実」を設定して、家族とも協力しながら支援に努めている。利用者とは日々の暮らしを通じて、家族からも主に来所時や家族会時に、気軽に相談しやすい雰囲気作りに努め多くの意見を得ている。全員で情報共有して必要な対応を話し合い、実現に向けて努力を重ねている。

また、管理者は職員への日常の声かけも工夫し、相談や意見、提案を出しやすい雰囲気作りをしている。職員アンケートや個別面談などを通じて職員とよく話し合い、外出や食事をはじめとした利用者の楽しみにつながる工夫にも取り組み、「その人らしく笑顔でゆったり暮らせるように」を大切にされた支援に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念はもちろん、去年より理念とは別で今年度のテーマを作りテーマに沿った取り組みも実践しています。	理念とともに基本方針を掲げ、年間テーマも設定して、利用者が笑顔でその人らしくゆったりと暮らせるような支援に取り組んでいる。理念は掲示して、ミーティング並びにユニットごとのグループワークで話し合い、管理者による個別面談でも意義を振り返って理解を深め、支援内容への反映に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年度は新型コロナウイルスの影響で地域行事や法人行事が中止になり実施が出来ていません。	現状は感染症への対応で多くの活動を休止しているが、自治会に加入しており、例年通りであれば、地域の方々と合同の防災活動や自治会の運動会、サロン、文化祭などに参加している。また、民生委員や子ども会と協力して法人でいきいきサロンや夏祭りも開催し、サマーボランティアや実習生の受入れなども積極的に行っている	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	法人の夏祭りでは地域の方々と交流の場に、地域の方々と防災訓練の際には施設内の状況や入居者様の現状を把握して頂く機会を設けています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	隔月で運営推進会議を実施し委員の方々と意見交換やアドバイスをもとに運営に関しての見直しをする所はしています。	利用者や家族、地域住民や民生委員も参加する会議ではホームからの現況や行事・事故・ヒヤリハット等の報告と共に、市の職員や他事業所の管理者などからの質問や意見、助言、提案などもあり有意義な情報交換の場になっている。会議の内容は議事録を作り家族会で周知を図り、具体的な改善策が家族や地域との交流及び日々のサービス向上等に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の中で、研修や近況の情報を頂いたり運営に関してのアドバイスをもらったりしています。	市担当者には毎回の運営推進会議で多くの意見や提案・情報をもらっている。また、電話や訪問で利用者の暮らしぶりやニーズに関する事、各種の手続き上の相談ごとに助言・対応してもらい協力関係を築いている。市主催の各種の連絡会や案内される研修会等にも出席して意見や情報の交換も行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	GH内で3ヶ月に1回の身体拘束廃止委員会を開催し現状の確認や見直し、代替え案などを話し合い必要性の検討を話し合っています。	近況はグループホーム内で身体拘束や高齢者虐待に関する勉強会を実施して、職員の理解を深めケアへの反映を図っている。関連のマニュアルや指針も整備し、身体拘束廃止委員会では現状の確認や見直し、必要な対応策の検討を行っている。日々のケアでは利用者個々の状況を十分把握するように努めると共に、特に言葉による行動制限や気持ちの押さえつけがないように繰り返し確認している。利用者が外出しそうな様子を察知した際は職員が廊下や園庭を一緒に散歩している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内の研修などで人権や虐待防止についてを学び、GHではグループワークなどを通して上手くいっていないケアについての意見交換や見直しをしながら1人で抱え込まないようにチームケアで取り組む形を作っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人全体での研修や、関連の研修に参加したりしながら学習しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前に契約に関する説明を行い、必ず書面に残し記録しています。改定後は再度説明を行い同意書などを準備して同意、ご理解を得ています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や運営推進会議参加時、面会や受診時など意見交換や相談できる機会をつくり要望に応えられるように努めています。	利用者や家族との信頼関係を大切にしたい。思いをうまく伝えられない利用者も含めて声かけもしながら気持ちの把握に努めている。近況を伝える家族との対話は概ね電話になるが、従来は訪問時や受診時の対話、運営推進会議、家族会などの機会に話しやすい雰囲気づくりに努めて多くの意見をもらっている。得られた意見、要望等は、申し送りやノートで共有を図り、主にユニットごとのグループワーク等で解決策を話し合い、看護師とも連携しながらケアへの具体的な反映に取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個人面談や毎月の会議、グループワークの中で職員同士の意見交換を行いその中で出た意見などをもとに運営などの見直しにも反映できるような機会を設けている。	管理者は普段より職員との対話を大切に考え、日々のミーティングやケアに際して、また、毎月の合同会議や勉強会、グループワーク、時には個別面談を実施して意見や提案を聞き取っている。新人にもアンケートを活用しての個別面談を行い、働きやすい環境づくりや職員のスキルアップ、提供するサービス向上等に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各職員のライフスタイルに合わせた勤務時間や勤務調整を行っています。処遇改善についても自己評価などを用いてその都度見直しを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>GH内での勉強会やグループワークで出た意見や取組を実践しながらチームとしてのスキルアップを、個人面談では個人に求める部分を管理者にて伝え個人のスキルアップへ繋げられるように取り組んでいます。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市のGH協議会やケアマネ協議会に加入し、研修や会議に参加し交流や情報交換を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に面談や情報収集を実施し、落ち着くまでの環境整備やご家族とのサポート体制を作り安心して過ごして頂けるような体制づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前の面談や情報収集に加え、入所契約時にご家族からの要望や状況に応じた体制づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まずはGHで出来る事、出来ない事を明確にし本人やご家族の意見を聞きながらその時の本人にとって大切なものを見極めながら支援出来るように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の立場に立った視点で考え、本人の苦しみや思いに寄り添った支援を行いながらお互いの関係性を作っていくように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の思いや要望も伝えながらご家族と過ごす時間や機会も一緒に支援して行けるように努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	定期的にご家族と一緒に過ごせるような機会を持てるように、調整や支援をその都度検討しながら努めています。	現状は感染症対応で実施は難しいが、従来は利用者が地域や地域住民とのふれあいの機会を持てるように、地域のサロンや併設のデイサービスでの知人との交流を支援している。また、家族とも定期的に一緒に過ごせるように一時的な帰宅や墓参り、外食なども積極的に勧めている。また、電話や手紙の取り次ぎをはじめ、家族の来所時にはゆったりと過ごせるように配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者全員で楽しめる行事やイベントを計画し、職員も間に入りながら関係性が作れるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所時や退所後も相談や要望には出来るだけ対応する事をご家族にも伝え関係性作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の関わりのなかで本人からの要望や思いを聞いたり、本人目線での環境整備や検討をするように努めている。	何よりも本人の気持ちを大切に考え、日々の暮らしの中、特に入浴時や居室での対話で、丁寧に声かけをしながら思いや意向の把握に努めている。内容は申し送りノートやケース記録等のほか、日々のミーティングや月1回のグループワーク等で共有を図り、必要に応じて家族も交えて対応を話し合い、利用者にとってより良い支援になるよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報や本人、ご家族からの聞き取り情報を参考に把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察や記録をしっかりと行い、状態変化などへの早期発見や対応の検討に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員同士は申し送りや連絡ノートで情報の共有を図り、毎月のグループワークや定期的なモニタリングでケアの見直しや検討を行っている。必要時は看護師などへ相談、アドバイスを頂き介護計画を作成している。	利用者や家族の思いや意見を聞き、また、主治医や看護師を含む関係者からの情報を申し送りやノートで共有し、グループワークやモニタリング等で状況に合わせた支援方法を十分に話し合い、職員の気づきやアイデアも含めてわかりやすい介護計画を作成している。日々の様子や変化などはケース記録や支援経過記録等に記述し、その時々利用者や家族の思いや希望に添って、計画の見直しや修正を適切に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の観察から気づいた点や変化は個別の台帳に記録し、グループワークや会議などで報告や意見交換を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様の高齢化やそのご家族の高齢化など現状に適した新しい支援の形、行事ごとへの取組みなどを考えて実施している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし力を文えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今年度は新型コロナウイルスの影響で地域資源の活用があまりできていない状況です。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族の要望もふまえてかかりつけ医の検討をするが、なければGHの協力病院の主治医にて毎月の訪問診療を受ける支援を提供しています。必要時は精神科医の訪問診療もある。	利用前の受診状況は十分把握し、家族の協力も得ながら本人や家族の希望するかかりつけ医の訪問診療や通院を適切に支援している。精神科医の訪問診療もあり、それぞれの医療機関とは密に連携している。受診状況や必要な対応も看護師や職員をはじめとする関係者で情報の共有が図られ、家族への連絡も適切に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>気付いた点や変化を看護師へ報告、相談し情報の共有や意見交換ケアの見直しや健康管理に努めています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は状態確認や退院後の生活について病院の相談員や看護師と連絡を取り準備体制を作ります。ご家族の要望なども病院へお伝えし相談、対応できる連携体制づくりに努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所契約時に管理者より説明しています。状況に応じて本人やご家族の意見を確認し、相談や要望を聞きながら協力病院との体制づくりに努め出来る事と出来ない事をしっかり説明しています。</p>	<p>重度化や終末期のケアについては、指針を基に入居時に管理者が説明し、意向確認書を交わして方針を共有している。協力医療機関や法人の関連施設などと連携し、利用者や家族の意向を反映するために、ホームで「できること、できないこと」をはっきりと示し、可能な限りの支援を行える体制づくりに努めている。特に家族の要望は主治医に伝え、意見をもらいながら対応している。関連するマニュアルの整備や勉強会を行い、緊急時にも適切に対応できるように取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故や急変に関してマニュアルを作成し、看護師との連携体制や研修や勉強会などで確認しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>法人全体での防災訓練や地域と協力しながら防災訓練を実施しています。</p>	<p>法人の避難訓練に合わせて年2回、夜間想定も含む避難訓練を実施し、避難経路や場所の確認も行っている。訓練には消防署や地域住民の参加も得ている。また、法人で地域と防災協定を結び、災害時には特養を避難場所として提供するようし、地域の防災訓練にも参加している。スプリンクラーや自動通報装置等の設置、食料や水の備蓄も十分で、訓練の充実のためにマニュアルの見直しも行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	普段の声掛けが馴れ合いにならないように注意し、毎回ケアの前に入居者への声掛け、説明を行いながら介助を実践しています。	入浴や排泄、食事などの日常のケアに際して、個々の状況に応じた丁寧な声かけや説明を行い利用者の不安や羞恥心にも配慮した支援になるよう努めている。また、関連する勉強会も実施し、きめ細かな観察や個人記録の取り扱いへの配慮のほか、各居室にはトイレが設置されプライバシーも適切に保護されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	行事ごとへの参加の有無や洋服の選択など些細な事でも選択の自由を尊重し自己決定できるように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	声かけしながらその日の状態や気分を確認し、入居者様のペースに合わせた対応に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服の好みや化粧、白髪染め等本人からの要望に沿った対応に努めています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来るだけ旬の物を献立に取り入れたり、たまにはお弁当やオードブル、バイキング等などで食への楽しむ機会を作っています。	利用者の好みも把握して旬の食材や家族からの差し入れも活用し、利用者のできることは手伝ってもらいながら楽しく食事できるようにしている。現状では、外食は難しいが、誕生日・敬老会等の特別食や季節の行事食をはじめ、弁当やオードブルを活用したバイキングなどの様々な工夫に取り組み利用者の楽しみにつなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	旬のものを取り入れながらメニューを作成し食事を提供し、水分量や食事の摂取量はチェック表を用いて確認しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは能力に応じて職員が一部介助を行い、清潔保持に努めながら必要時は歯科をご家族と連携しながら受診しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンや状態に合わせて見直しやパットの使用も検討しています。状態によっては普通パンツに戻る入居者もいます。	家族ともよく話し合いながら、利用者の自尊心に配慮し、個々のパターンや状態に沿った対応に努めている。各居室にトイレがあるため、プライバシーの確保は十分なされており、丁寧な声かけ誘導でトイレでの排泄を基本にしながら、他の排泄用品の使用も検討している。これらの工夫はケアプランにも反映して利用者に合わせて対応になるように取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量や食事を工夫しながら出来るだけ自然排便を促しています。便秘傾向の方は主治医や看護師へ報告し薬の調整や検討を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2～3回の入浴を実施しています。職員が1対1で対応しゆったりと入浴を楽しめるように配慮しています。	週に2～3回の入浴をゆったりと安心して楽しめるよう、家族からの情報も活用して声かけや誘導も工夫しながら、本人の習慣や気持ちに添うよう柔軟に支援している。また、可能な限りゆっくり会話するように努めている。バイタルチェックや皮膚等の観察も丁寧に行い、安全面や利用者の不安・羞恥心にも十分に配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の状態や希望に応じて寝具や室温調整を行い安眠できるような環境整備に努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が中心となり、主治医やご家族と相談しながら服薬支援を実施しています。変更時は申し送りやチェックボードを活用し情報共有を行います。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の生活歴や嗜好に合わせた簡単な活動やお手伝いを考えながら支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>今年度は新型コロナウイルスの影響で園外への支援は自粛しています。ご家族へのご理解も得ています。</p>	<p>近況は感染症への対応も考慮して園外への外出支援は休止しているが、利用者の健康状態や天候を見ながら、本人の希望に沿って敷地内の散歩や日光浴などを支援している。例年であれば年間計画に沿って、自治会の運動会や馬踊りなどの地域行事のほか、関連施設との交流、初詣や季節の花見、ドライブを兼ねた外食などに出かけて楽しんでもらっている。また、家族との募参りや自宅での食事、外泊も積極的に勧めているが、現状は再開できるよう切望している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在入居者で金銭管理をしている方はいません。ご家族の同意をもとにお小遣いを預かり使用した際はご家族へ報告しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者様の希望に合わせて必要時にご家族へ説明し、電話などの支援を行っています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室は入居者様の希望や動線を考えた配置になっています。共有スペースは季節感を感じられるような飾りや掲示物を置き、また普段の生活の様子などの写真を掲示して目でも楽しめるような工夫をしています。</p>	<p>広い敷地には地域の方々にも開放しているグラウンドもあり、多くの植木やプランターもあり、散策や日光浴に適した環境で、法人の関連施設に併設されている。明るく広いリビングは家庭的な雰囲気であり、季節の花や観葉植物、行事および日常の暮らしの写真、手作りの作品などが飾られている。ゆったりと日光浴や対話ができるようにイスやソファも配置されている。全体に室温や湿度、採光や清潔感などに配慮がなされ、落ち着いて気持ちよく過ごせる環境になっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者様の関係性や性格を考えた食事席などの配置になっていたり、廊下や窓際には日光浴などを楽しめるようなスペースも作っています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の写真や在宅で使用していたものを置いたり一人一人が落ち着いて過ごせる環境づくりに努めています。</p>	<p>広く明るい居室は、入り口には職員が手作りしたのれんがかけられ、エアコンやベッド、トイレや洗面台、クローゼットなどが準備されている。家族の協力も得て、本人が馴染みの家具や写真、使い慣れた身の回りの物が持ち込まれ、その人らしく落ち着いて暮らせるように支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>本人の残存機能や状態に合わせた配置を考え、その入居者様が安心して生活できるような環境整備に努めています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない